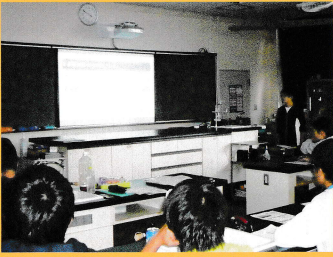


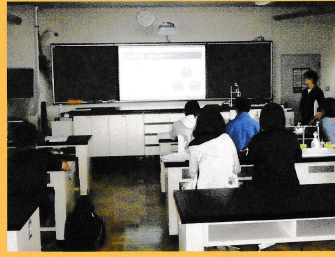
清陵SRコース



2学年課題研究発表



2学年SRコース課題研究中間発表
(10月7日)
SSHを引き継いだ形の本校独自のSRコースは、自分でテーマを設定し、



その設定の動機、目的、研究の方法及び研究の途中経過・最終発表・成果についてプレゼンテーションソフト等を用いて課題研究発表会を行っています。

す。発表について、途中経過ではどのような支障が生じているのか、またその原因と対策等について、聴講生徒と議論を深めながら、最後に先生方から今後の研究方針や方法について助言を得ています。毎回、聴取する多くの生徒からは活発に質問や意見が出され、どんな点の改善が必要なのかの考えを深め以後の参考とできるような取り組みを行っています。まさに、自ら課題を考え仮説を立て、自ら研究し、実証し、解答へと導いていく学びなのです。

中間発表された課題研究テーマ

	テーマ
1	諏訪湖のプランクトン、温度による変化
2	上諏訪温泉を使った草木染について
3	10進数以外のn進数計算値
4	米ぬかが野菜に与える影響
5	歩きスマホの危険性の検証
6	植物色素の活用法についての研究
7	魚の年齢と成長と環境
8	クマムシの休眠のメカニズム
9	災害対応ロボットのメカニズムの研究

諏訪圏工業メッセ



10月13日、1年生全員で「諏訪湖イベントホール」で行われた諏訪圏工業メッセ視察を行いました。諏訪圏工業メッセ視察を通して「働くこと」に対する意識と理解を深め、健全な職業観や勤労観を養いキャリア形成に必要な基盤となる能力や態度の育成を図ることを目的としたものです。地域や社会と積極的にかかわり、様々な人と触れ合うことで、地域社会や地元企業における科学技術発展の歴史や先端技術の研究開発等に対する関心を高め、高等学校や大学等で学ぶことの意義や各自の生き方を考える機会とすることもできました。展示セッションのポスターやプレゼンテーションコーナーでの発表の仕方も見、今後の情報活動や発表などの参考にもなり大きな刺激を受けることができた視察会となりました。



1学年先端技術産業研究



1学年ではSR、情報教育の一環として、11月10日に先端技術産業見学を実施しました。「働くこと」に対する意識と



理解を深め、健全な職業観や勤労観を養い、キャリア形成に必要な基盤となる能力や態度の育成を図ること



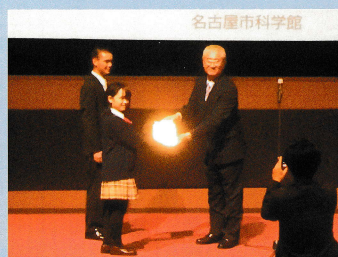
を目的に、また、地域や社会と積極的に関わり、様々な人と触れ合うことで、地域社会や地元企業における

科学技術の発展による歴史や先端技術の研究開発等に対する関心を高め、高等学校や大学等で学ぶことの意義や各自の生き方を考える機会となることも含めて目的としています。先端技術産業見学後はまとめとして個人レポートを作成し、情報授業講座の中で各自の個人レポートを参考にして、班ごとにポスターを作成し、展示発表を行います。皆、興味深く各企業の説明を聞き、職業意識と科学的研究意識を高めることができた一日となりました。

東海化学研究発表交流会



日本最大の化学学会である日本化学会は、全国に7つの支部を持ち、長野県は東海地区に所属しています。東海



支部では、毎年11月3日(文化の日)に、「夢!化学-21」と題して、東海支部所属の各県高校化学部での、高校生



の研究活動の発表交流会を実施しています。諏訪清陵高校は、ここ3年連続で長野県の代表としてこの交流

会に参加しています。ハイレベルな研究発表が多い中で、一昨年、今年と優秀な研究と認められる学校(数校)に送られる優秀賞を受賞しました。質疑応答の時間には多くの質問が飛び交い、充実した交流の時間が過ごせました。

